

2020 年 10 月 31 日

ほしぞらサロン 2020 年 9 月議事録

文責：石橋 愛理

日 時： 2020 年 9 月 26 日（土）18:00～21:30

場 所： ユリックス第 3 会議室

参加者： 飯塚, 平*, 高木, 町田*, 宮田*, 山田（明）

（50 音順、敬称略）

職 員： 小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

見 学： 永井さん

計 12 名

* リモート（Zoom）参加者

1. 10 月 3 日（土）「お月見・火星観望会」について

次回のウォッチングの最終確認を行った。

=====当日の流れ（予定）の確認=====

10 月 3 日（土）19:00～21:00 天体観望 《場所：風の丘》

※雨天時、天体が見えない場合は、プラネタリウム解説のみ実施。19 時からプラネタリウム前で整理券配布（先着 80 人）。19 時 30 分から約 30 分間のプラネタリウム解説。

観望天体：月（月齢 16.0）、火星。[当日のスタッフ人数次第で木星と土星を追加]

使用機材：タカハシ(2),(3) [上記の通り、スタッフ数によりビクセン屈折望遠鏡×2 台を追加]

タカハシ(1) [Youtube 中継, スクリーン投影用]

=====

-->雨天の場合、19 時からプラネタリウム整理券の配布を開始する。先着 80 人に配り終えたら、集合次第早めに投影開始したい。前回のウォッチングでは、プラネタリウム開始までの待機場所として第 1 会議室を準備していたが、今回は無し。

-->晴天時、スタッフ数が多ければ、ビクセン屈折望遠鏡を追加し、木星と土星を観望できる可能性がある。ほしぞらスタッフのみなさんに是非参加いただきたい。

-->今回も、前回のウォッチングと同様に、感染予防対策としてアイピースの上から紙コップをかぶせ、来場者には紙コップ越しに観望してもらう。今回は、紙コップの底の穴のサイズを前回より大きくする予定。

2. 12 月 20 日（日）「木星・土星 大接近ウォッチング」について

12 月 21 日に、木星と土星が見かけ上、満月の見かけの直径の約 4 分の 1（約 7 分角）の距離まで接近する。今回はその前日の日没後 18 時～19 時のあいだ、観望会を行う。実施にあたり、これまでのサロンで話し合いを行ってきた。

=====当日の流れ（予定）の確認=====

12月20日（日）18:00～19:00 天体観望《集合：風の丘》

※雨天時、天体が見えない場合はプラネタリウム解説のみ実施。整理券を17時30分から、先着80人に配布。18時から約30分間のプラネタリウム解説。

観望天体： 木星、土星（同一視野）

使用予定機材： 参加人数によるが、タカハシやビクセンなど、できるだけ多く望遠鏡を出したい。

※冬季の観望会となるため、結露予防のレンズヒーターが必要になる見込み。なお、カイロはすぐに冷えてしまう懸念があるため、今回は使用しない。

=====

角田：

当日は19時40頃には木星と土星が沈んでしまう。日没後18時から19時までの1時間限りの観望会となるため、できるだけ多く望遠鏡を出し、次々に来場者に見てもらいたい。ぜひ多くのボランティアの参加をお願いしたい。

（観望場所について）

木星・土星の高度が低く、早々に沈んでしまうため、できるだけ南西の低い空が見渡すことができ、多くの来場があった場合にも備えられる場所が良い。観望場所をどこに設定し、どのように列をつくるか。

高木： 高度が5～7度くらいならばアクアドーム前でも良さそうだが、それよりも低くなると観望が難しくなりそうだ。

角田： 芝生広場や古墳広場という選択肢もあるが、来場者の安全を考えると、風の丘あたりがいいのではないかと（芝生広場や古墳広場は段差があるなど、足場が悪い）。風の丘であれば、もし来場者が多くても、並木道の方へ並ばせるなどの対応が出来そうだ。

平： ユリックスの第1会議室の窓から直接観望することも可能なのでは？もし会議室の窓からの観望という形で実施が可能であれば冬場でも暖かく、来場者も快適なのでは。

-->平さんの意見を受けて、次回（10月31日）のサロンは第1会議室で実施予定。会議室から、実際に木星や土星が観望できるか、望遠鏡を向けて試したい。

-->また、サロンを21時頃目処に終了できれば、その後実際に屋外で観望のテストも行いたい。

-->観望会当日は、望遠鏡とカメラをつなぎ、木星・土星を映し出すためのスクリーンを出したい。観望場所と、スクリーンをどこに設置できるかという点についても検討する必要がある。

3. ほしぞら合宿の実施について

これまでのサロンで、コロナ禍においての合宿が実施できるのか、またどのような点に配慮す

れば実施可能か、話し合いを行ってきた。前回のサロンの中で、宿泊せず日帰りでも実施できるのではないかという話が出ており、今回はその候補地として、清和高原天文台や小石原方面、檜原湿原などが挙げられた。

メーリングリストで事前に希望者を募っての開催であれば、ボランティア活動として認められ、保険適用対象となる。職員立ち会いの下であれば望遠鏡の貸し出しも可能。実施の際にはメーリングリストでの事前の呼びかけをお願いしたい。

4. クリスマス時期のボランティア活動について

クリスマス時期の活動として、こども向けクリスマス番組制作をボランティア主体で行っていた。今年度、ボランティアによる番組制作は行わないことになった。その他に何か活動ができないか、話し合いを続けてきた。前回のサロンで、宮田さんより、12月21日に木星と土星が接近することから、小学生向けに望遠鏡工作講座を実施するのはどうかというアイデアが出た。

-->小学4～6年生向け講座として、11月28日（土）・12月19日（土）15時から18時での実施決定（全2回）。定員は各回10人ほどとし、往復はがきでの応募とする（なお、応募が多い場合は抽選）。

-->11月28日（土）はサロン開催日となっているが、工作講座と時間が重なるため、サロンの開始時刻は19時からとしたい。

次回のサロンは10月31日（土）です。